

# 人工種苗でオリブハマチ

香川

## 服部水産が今期4000尾出荷

【香川】香川県で生産される讃岐のブランド魚「オリブハマチ」に、今年初めて人工種苗のオリブハマチが誕生する。平均サイズは3キで、今月中旬から出荷がスタートする。今年の出荷計画尾数は4000尾。香川県漁連（高松市）とクラハシ（広島県福山市）が販売する。

養殖するのは服部水産（香川県東かがわ市、服部秀俊社長）。高知県香美市の山崎技研から仕入れた人工種苗をエクストルーダーペレット（E.P.飼料）で育てた。服部社

長は「給餌のこつが分かり、人工種苗の養殖に自信がついた。来年は、今年よりサイズアップできそうだ」と笑顔で話した。オリブハマチは9月21日から全国一斉で販売をスタートした。今期の出荷量は約15万尾を計画。昨年のモジャコの不漁が影響し、今期の出荷量は前期に比べ下回る。一方、人工種苗の生産が今年から県内でスタートしており、来年以降、人工種苗のオリブハマチが増えそう。



今年から初出荷される人工種苗のオリブハマチ

